

Accuphase

# MC CARTRIDGE HEAD AMPLIFIER

# C-17

取扱説明書  
Instruction Manual



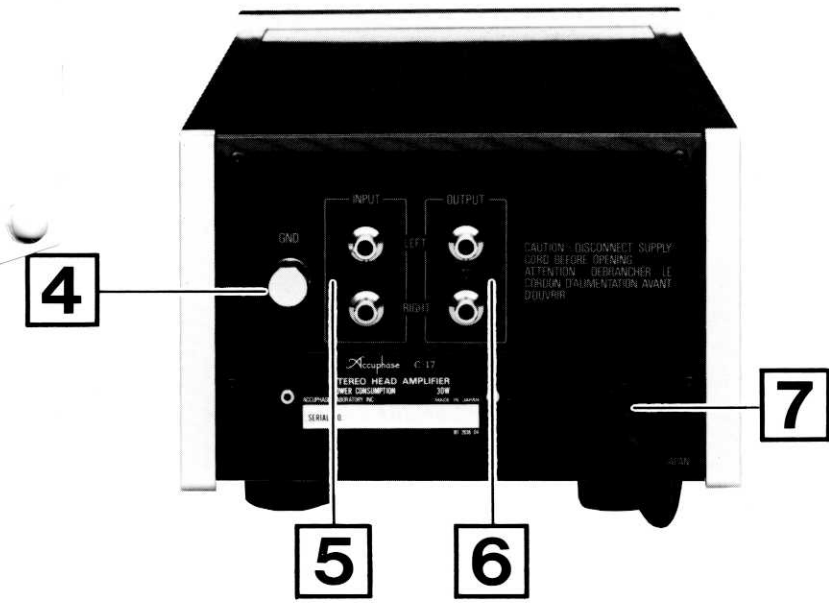
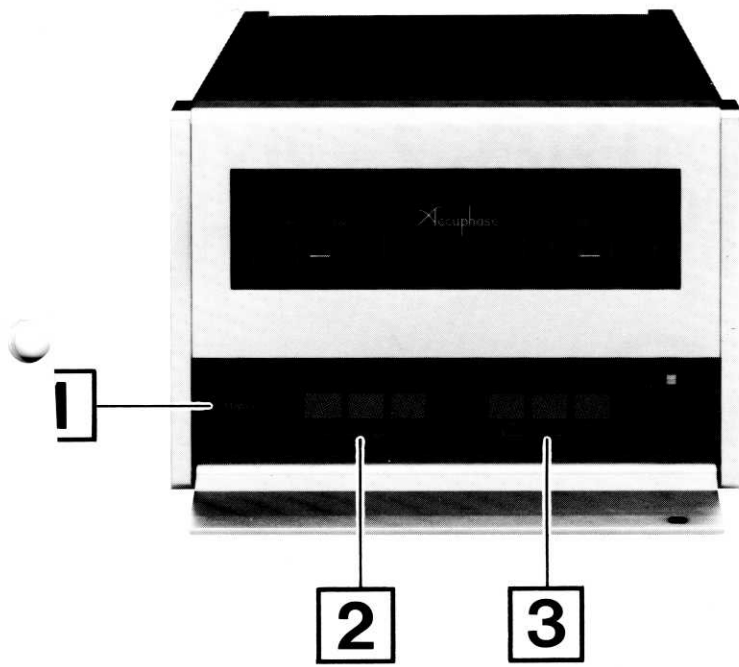
---

## お 願 い

お客様カードを付属していますから、これに必要事項をご記入のうえなるべく早く（お買上げ後10日以内に）ご返送ください。お客様カードと引きかえに品質保証書をお届け申し上げます。

製品に関するお問い合わせ、または異常が認められるときは弊社、品質保証課または、お求めの専門店へ、直ちにご連絡くださいますようお願い申し上げます。

---



このたびはアキュフェーズ製品をお買上げいただきまして誠にありがとうございました。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、出荷にいたるまで数多くの厳しいチェックを受け、その過程及び結果が一台ごとの製品の履歴書として明細に記録され、社内に保管されております。このように完全な品質管理体制の中から生まれた本機は、必ずやご満足のいただけるものと思います。末長くご愛用下さいますようお願い申し上げます。

## ■目次

特長	1
各部の動作説明	2
ご注意	4
保証特性	5

## 特長

### ■ 増幅器の理想を実現したカスコード・プッシュプル増幅回路

アキュフェーズの伝統的な「全増幅段 A 級プッシュプル」に「カスコード方式」を組み合わせ、NFB（負帰還）をほどこす前の素特性を極限まで改善しています。

カスコード接続は素子の内部におけるフィードバックが少なく、雑音の発生を押さえ、低い周波数から高い周波数にわたって直線性が良いという特長があります。C-17は、これをプッシュプルに構成することにより、ひずみ、雑音を押さえ、周波数特性にすぐれた増幅器として理想的な性能を実現しています。

### ■ 徹底した低雑音化

ヘッドアンプの問題点は雑音、つまり S/N です。特に定格出力が 0.1mV 以下の MC カートリッジの信号を扱うには、ヘッドアンプの残留雑音をおさえることが大きな課題となります。

C-17は、低雑音素子の採用はもちろん、差動入力回路で発生する雑音に対して NFB ループの低インピーダンス化を図り、抵抗雑音を大幅に減少させています。

### ■ 2トランスの完全モノコンストラクション。さらに専用の定電圧電源で強化

電源部も信号が流れるので増幅回路の一部と見ることができます。したがって増幅回路のクオリティーに見合った良質な電源でなければ、全体の質は向上しません。

C-17は左右チャンネルに専用の電源トランスを装備し、電気的にも構造的にも完全に独立した、理想的なモノコンストラクションになっています。さらに広い帯域にわたって低インピーダンス化を図るために、左右チャンネル専用の定電圧電源を搭載し、この定電圧電源回路は配線経路を最短にするために、増幅回路と同じアルミ・ハウジングに収納されています。

### ■ 広範な MC カートリッジとベストマッチングをとる入力インピーダンス切り替えとゲイン切り替えを装備

MC カートリッジの内部インピーダンス（出力インピーダンス）は  $2\Omega \sim 50\Omega$  前後までその差は 20~30 倍にも達します。出力電圧も 0.01mV クラスから 0.5mV 位まで、実に 50 倍 (34dB) もの差があります。

このような広範な MC カートリッジと理想的な状態でマッチングするよう、入力インピーダンス 3 段、ゲイン 2 段の切り替えが可能です。

# 各部の動作説明

## 1 POWER—電源スイッチ

押し込んだ状態で電源が入り、再び押すと切れます。電源を入れてから回路が安定するまで約3秒間はミュート回路が作動しますので出力はありません。ミュート回路が解除になると、ガラス窓の中のMC LOAD 及び GAIN のポジション・インジケータ（LED＝発光ダイオード）が点灯します。

C-17はエレクトロニクス回路によってMC LOAD 切り替えやGAIN 切り替えをコントロールしております。コントロールの中核となるロジック回路はコンデンサー・バックアップ方式になっており、電源スイッチを切る直前の状態を約2週間記憶します。

長期にわたってC-17を放置しておいたときは、その後のスイッチONで、MC LOADは30—OHM、GAINは26dBの状態になります。

通常は、本機と併用するプリアンプがヘッドアンプ内蔵型であっても、プリアンプ側のヘッドアンプをOFFにして、C-17を使用しますが、ヘッドアンプ同士の音質比較を試みる場合に、本機の③GAINのプッシュボタンをOFF/MMポジションにして、併用するプリアンプのヘッドアンプをONにしますと、プリアンプのゲイン（利得）が増大する結果、プリアンプの前に接続されているC-17の誘導を受けてハム音（ブーンという音）が聴こえる場合があります。

このような場合は、C-17のPOWERスイッチをOFFにしてください。

POWERスイッチをOFFにしてもカートリッジからの信号は、C-17をパスしてプリアンプへ到達します。

また、MCカートリッジの再生状態で、本機の電源コードを抜き差ししたり、POWERスイッチをON/OFFしますと、鋭いショックノイズが出ることがあります。上記の操作をするときは、必ずプリアンプのVOLUMEを下げてください。

## 2 MC LOAD—MCカートリッジ負荷インピーダンス・セレクター

MCカートリッジの負荷インピーダンス（ヘッドアンプの入力インピーダンス）を切り替えるスイッチです。原則的にはMCカー

トリッジの内部インピーダンス（出力インピーダンスともいう）が $20\Omega$ 以上あるときは、“ $100\Omega$ ”ポジション、それ以下のときは“ $30\Omega$ ”あるいは“ $10\Omega$ ”を使います。つまり、カートリッジの内部インピーダンスの2～3倍以上のインピーダンスを目安にしてください。しかし $20\Omega$ 以下のものを“ $100\Omega$ ”で受けて大変良い音質が得られる場合もありますので、実際には試聴をして決定してください。

ただし、ヘッドアンプはステップアップ・トランスと違い、カートリッジの内部インピーダンスと同等、またはそれ以下の負荷インピーダンス値では振動系が過制動の状態になり、低域不足で中高域が細く、硬質な音になります。

③ゲイン・セレクターが+26dB/+32dBポジションにあるときに、このスイッチを操作すると約1秒間ミュート回路が作動します。

## 3 GAIN—ゲイン（利得）セレクター

本機のゲイン（利得）を切り替えるスイッチです。このスイッチを操作すると約1秒間ミュート回路が作動します。

### OFF/MM—MM型カートリッジ・ポジション

ヘッドアンプを通す必要のないMM型（ムービング・マグネット＝高出力）カートリッジを使うときはこのボタンを押してください。C-17のゲインは0dB（1倍）で、カートリッジの信号はストレートにプリアンプへ到達します。

C-17をこのOFF/MMポジションにして、プリアンプに内蔵されているヘッドアンプを作動させてもMCカートリッジの再生は可能ですが、ゲインが増大したプリアンプの前に、このC-17がつながった状態になり、誘導雑音を発生する場合があります。プリアンプ側のヘッドアンプを使用してC-17をパスさせるときは、C-17のPOWERスイッチを切ってください。POWERスイッチOFF、及びゲイン・セレクターのOFF/MMポジションは共に、カートリッジの信号がC-17をパスしてプリアンプへ到達するようになっています。

